

大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書(2025年度版, ver.26)

二木 立 (日本福祉大学名誉教授)

- ※ 医療・福祉マネジメント研究科の4月18日の「統一導入講義」で用いるので、必ず持参すること。
本講義への他研究科の院生の聴講も歓迎します。
- 「文科系」向きの概説書・入門書・教養書を示したが、専門書・研究書も一部掲載した(約230冊)。
○6つのテーマごとに、原則として、発行年が新しい順に示したが、複数のテーマにまたがる本も少なくない(特に、文章の書き方と論文の書き方、論文の書き方と研究方法論)。原著と文庫・新書があるものは、入手しやすさを考慮して、確認できた限り後者を示した(カッコ内に原著記載)。
○品切れの本でも有用と判断した本は紹介(*印。本学図書館に所蔵&Amazon等でも古書購入可能)。
○書名のゴチックは私のお薦め本。…以下は私のコメント、ゴチックは特に重要なポイント。
○●、▲はそれぞれ2024年度版(ver.25)、2022年度版(ver.24)への追加(各6冊、15冊)。
2025年度版で初めて紹介・推薦した6冊は、最後の「補足」(14-16頁)で詳しく紹介。

注意・警告・助言

- 文・文章・論文の書き方や調査法には「基本的ルール」があるが、読書法や研究法は研究者や研究分野によりかなり違うので、自分のフィーリングにあう本を選んで読み、「自分のスタイル」を身につける。
○ただし、この種の本は各分野1~2冊読めば十分、沢山読み過ぎないこと。それよりも、**自己の研究テーマ関連の優れた本・論文を精読し、論文の書き方や研究方法を「盗む」のが一石二鳥。**
○一般論としては、それぞれの分野で新しく出版された本や版を重ねている本の最新版を読むのが安全。ただし、改定されていない古い本でも、長期間売れ続けている本は内容が充実。

1. 文・文章・論文の書き方 ※文=センテンス(。で終わる)≠文章(文のまとまり)

<文・文章の書き方の入門書・基本図書(学部レベル。文章の書き方に自信のない院生も読むこと)>

文化庁文化審議会「公用文作成の考え方(建議)」2022(ウェブ上に公開)…「読み手に伝わる

公用文作成」のポイントを簡潔かつ包括的に解説。研究論文や業務文書を書く参考にもなる。

八木欣之助『令和4年公表「公用文作成の考え方」のポイントと文例』新日本法規,2022. ▲…著者は元内閣府法制局参事官。**公務員や社協職員等はサラリと通読した方が良い。**

藍月要『理系のための文章教室—もう「読みにくい」とは言わせない!』星海社,2020. …バリバリの理系人間の作家が、正確&読みやすい文章を書くテクニックを伝授。

西岡孝誠『東大作文—「伝える力」と「地頭力」が一気に高まる』東洋経済,2019. …「まず『最後の一文(結論)』から考える」等、「双方向的な作文を書く」能力を身につけるポイントを示す。

吉田裕子『会社では教えてもらえない人を動かせる人の文章のキホン』すばる舎,2018. …文書と文法の基本を簡潔に伝授：**1文50字・1段落150字以内**、句読点の位置、が・はの区別、漢字は3割が上限。

松林薫『迷わず書ける記者式文章術—プロが実践する4つのパターン』慶應義塾大学出版会,2018. …速く書くためのノウハウ満載。文の書き方：**1文は40~60字以内**、一文一意、受身形を使わない。

前田安正『マジ文章書けないんだけどー朝日新聞ベテラン校閲記者が教える一生モノの文章術』大和書房, 2017. …志望動機書を書き方を例に、対話形式で豊富な「問題」も交えて解説。意外に深い。

前田安正『きっちり！恥ずかしくない！文章が書ける』すばる社, 2013. *…ベテラン校閲記者が、言葉の仕組みや助詞の使い方等を、悪い例文とその改善例を示し説明。「は」と「が」の違いは明快。

毎日新聞校閲グループ『校閲記者の目ーあらゆるミスを見逃さないプロの技術』毎日新聞出版, 2017. …日本語表現のセンス・語感を磨く上で有用。

山口裕之『コピペと言われないレポートの書き方教室ー3つのステップ』新曜社, 2013. …コピペと言われないことに焦点化したユニークな文章の書き方。「おわりにー民主主義とレポート」は深い。

植竹伸太郎『凡文を名文に変える技術』文春新書, 2015. …元新聞記者が、カルチャー教室での添削指導の実例を示しながら、文章を磨く秘訣を丁寧に指導。「各論から総論へ」の構成がユニーク。

高橋俊一『削るほど良くなる文章の練習帳』河出書房, 2015…文章表現の要・不要を見分けて感性を磨くために、実際の「名文」を削り込んで短くするトレーニング集。原文と改善文を対比。

酒井俊樹『100ページの文章術』共立出版, 2011. …「読者に分かって貰うための文章」を書く術を明快に説明。特に、第3章「文章全体としてわかりやすくする〔7つの〕術」は有用。例文も豊富。

野内良三『日本語作文術ー伝わる文章を書くために』中公新書, 2010. …文章の「型」を重視した実用文の書き方：**文の長さは上限50～60字、段落は200字以内に1つ**、「使える」定型表現の集大成等。

飯間浩明『伝わる文章の書き方教室ー書き換えトレーニング10講』ちくまプリマー新書, 2011. …伝わる文章の3条件（語彙力、表現力、論理力）を伸ばすための、ゲーム感覚で行えるトレーニング。

阿部純久『文章力の基本ー簡単だけど、だれも教えてくれない77のテクニック』日本実業出版社, 2009. …「良い文章＝明快な文章」。77のテクニックごとに、例文と添削例を示し、やさしく解説。

石黒圭『文章は接続詞で決まる』光文社新書, 2008. …接続詞に特化した初めての文章を書くための本。**読みやすい文章の全体構造を支える接続詞使用の勘どころ**を、豊富な例文を用いて解説。

立濃和男『文章のみがき方』岩波新書, 2007. …「いい文章」を書くための38の心がけを、多くの名言を紹介しながら簡潔に解説。「Ⅲ. 推敲する」は**研究論文を書く上でも有効**。

樋口裕一『できる人の書き方ー嫌われる人の悪文』ビジネス社, 2005. …ビジネスマンに、文章を書く心構えとコツを伝授。**最長60文字の目安**、「語彙」ではなく「論理」、**人の文章を添削等**。

樋口裕一『ホンモノの文章力ー自分を売り込む技術』集英社新書, 2000. …文章とは自己演出だ。**自己推薦書の書き方**（第3章）は、就職活動時必読。

高橋昭男『大切なことは60字で書ける』新潮新書, 2005. *…情報やメッセージを短い文で分かりやすく書くための技術を伝授。第12講の「正確な言葉より適切な言葉」は秀逸。例文が豊富。

清水義範『大人のための文章教室』講談社現代新書, 2004. …一般の大人のために文章をうまく書くためのコツや裏技を指南。第7講**近寄ってはいけない文章（学者の論文が筆頭！）**は痛い！

宮部修『文章をダメにする3つの条件』丸善ライブラリー, 2000. …ダメな文章とは、①事実や印象の羅列、②理屈攻め、③一般論。豊富な実例を用いて、文章の基本の基本を丁寧に説明。

<文・文章の書き方の中・上級書(学部高学年～大学院レベル)>

石黒圭『段落論ー日本語の「わかりやすさ」の決めて』光文社新書, 2020. …段落の仕組みと適切な段落づくりのコツを「極める」ことを目指す、準専門書。段落は英語圏のパラグラフとは異なる。

本多勝一『<新版>日本語の作文技術』朝日文庫, 2015 (初版, 1981). …この分野の古典。句読点の打ち方の章は秀逸だが、私は、点の多い長文より、短文に分割する方が読みやすいと思う。

古郡廷治『論文・レポートの文章作成技法－論理の文章術』日本エディタースクール出版部, 2005. …論理的な思考力、文章力を養うための「文章教育」。文と文章の書き方の基本をていねいに説明。
古郡廷治『文章添削トレーニング－8つの原則』ちくま新書, 1999. *…文章の書き方の原則を丁寧に解説。ポイントは**短い文を書く（1文は80～100字を超えない）**。例文が豊富。
宇佐美寛『作文の論理－「わかる文章」の仕組み』東信堂, 1998. …看護界の重鎮（南裕子日本看護協会会長等）の「悪文」を徹底的に批判・添削。**看護系院生必読**。ただし、超シツコイ。
清水幾太郎『論文の書き方』岩波新書, 1959. …この分野の超古典。「が」を使うなは、今でも新鮮。

<論文の書き方の基本図書(学部レベル。論文の書き方に自信のない院生は1冊以上必読)>

樋口裕一『やさしい文章術－レポート・論文の書き方』中公新書ラクレ, 2002. …よい意味で「マニュアル」に徹している。鍵は、「小論文の延長線上で書く」。
古郡廷治『論文・レポートのまとめ方』ちくま新書, 1997. …論文の書き方を基本から徹底指導。
木下是雄『レポートの組み立て方』ちくま学芸文庫, 1994 (筑摩書房, 1990).…『理科系の作文技術』（後述）の文科系版。レポートに書くべきは、事実とその根拠を示した意見だけ等、明快・簡潔なレポートのコツを説く。

<論文の書き方の中・上級書(学部高学年～大学院レベル)>

西部幸大『まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書』光文社, 2024. ●…学術論文を書くために「必要となる条件を、徹底的に要素分解し、極限までプラクティカルに解説」。
アメリカ心理学会著、前田樹海・他訳『APA論文作成マニュアル [第3版]』医学書院, 2023. …学術論文の書き方の事実上の国際標準。超上級書だが、英語の学術論文を書く院生や教員は必読。
前田樹海・江藤裕之『APAに学ぶ看護系論文執筆のルール 第2版』医学書院, 2023. …『APA論文作成マニュアル』に準拠し、287の簡潔なルール（チェックリスト。1-2行）を示す。
小熊英二『基礎からわかる論文の書き方』講談社現代新書, 2022. ▲…学問分野を超えた共通の「論文の書き方」・「論文の型」について、基礎から系統的に解説（全11章、475頁！）。
梶谷真司『書くとはどういうことか 人生を変える文書教室』飛鳥新社, 2022. ▲…「自分の文章」＝「自分の言葉で書かれた文章」を書くための心構え。「他者と共に書く」技法を開陳。
細川英雄『自分の<ことば>をつくる あなたしか語れないことを表現する技術』ディスカバー携書, 2021. …上記技術を身につけるプロセスを丁寧にa/oやや理屈っぽく説明。
山内史朗『新版 ぎりぎり合格への論文マニュアル』平凡社新書, 2021（初版2001）. …「論文の最低レベルを伝授」すべく、論文の作法と形式にトコトンこだわった本。心得・教訓は妥当。
中村好一『基礎から学ぶ学会発表・論文執筆 [第2版]』医学書院, 2021（初版2013）. …学会発表～論文執筆・刊行のプロセスと注意事項を丁寧に解説。第20章「編集委員会のやり取り」は貴重。
佐渡島沙織・他『レポート・論文をさらによくする「引用」ガイド』大修館書店, 2020. …引用の形式的側面よりも内容的側面を重視。第2章で、引用の目的ごとに、引用の留意点を解説。
佐渡島紗織・他『レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド』大修館書店, 2015. …学術的文章の初稿を形も内容も磨いて改善するための方法を、10編の文章の詳細な添削を通して伝授。
樋口貴広『研究的思考法－思いを伝える技術』三輪書店, 2019. …「パラグラフ・ライティング」に基づき、「最初に意見・主張を示し、後に根拠を述べる」スタイルを解説。「文書事例」が豊富。
小笠原喜康『最新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書, 2018. …インターネット検索

検索方法が詳しい。**文章をわかりやすくする「唯一の原則」：「一文を短くする」（30～40字）。**

河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第4版』慶應義塾大学出版会, 2018（初版, 1997）…レポート・論文の「基本的な要件と形式」を簡潔に示す。「注、引用、文献表の付け方」が詳しい。

明石芳彦『社会科学系論文の書き方』ミネルヴァ書房, 2018. …大阪市立大学社会人大学院の「研究方法論」講義を「対話型」でコンパクトにまとめる。コラムが充実（「報告書は論文ではない」等）。

平泉光一『社会科学における実証研究の方法—論文作成の指針』デザインエッグ, 2017. …一歩進んだ指針。質的研究の参考文献リストは充実（第8章。合計66）。補論「論文作成のべからず集」は有用。

P・J・シルヴィア『できる研究者の論文作成メソッド—書き上げるための実践ポイント』講談社, 2016. …インパクトのある実証論文を書くための奥義。**「共著論文執筆のヒント」**は類書にない。

P・J・シルヴィア『できる研究者の論文生産術—どうすれば研究論文をたくさん書けるのか』講談社, 2015. …書く気の有無にかかわらず決まった時間に書く、サポーターグループを作る等の心得。

細川英雄『増補改訂 研究計画書デザイン—大学院入試から修士論文完成まで』東京図書, 2015. …技術論より「考えるための方法論」を重視: データ/先行研究/他者との議論の「インターアクション」等。

細川英雄『論文作成デザイナー—テーマの発見から研究の構築へ』東京書籍, 2008. …「論文は対話活動」との立場から、執筆プロセス（テーマの発見～証拠の提示～主張～推敲）を詳述。やや思弁的。

鈴木哲也・高橋桃子『学術書を書く』京都大学出版会, 2015. …編集者の視点から、学術書を書くポイントを伝授したユニークな本。第Ⅱ部は博士論文の単行本化をみざす若手研究者必読。

酒井聡樹『これから論文を書く若者のために [究極の大改訂版]』共立出版, 2015. …（理系）学術論文の各章で書くべきことを具体例を示し説明。**学術雑誌に投稿後の各段階での対処法**を詳述。

今野浩『ヒラノ教授の論文必勝法—教科書が教えてくれない裏事情』中公新書ラクレ, 2013. …理系と文系の研究（者）の違いがよく分かる。7章（論文を量産する方法等）～9章は文理共通。

戸田山和久『新版 論文の教室—レポートから卒論まで』NHKブックス, 2012. …卒論・修論を書くための36の「鉄則」を、読みやすく物語風に示す。アウトラインの作り方と論証の仕方が詳しい。

川崎剛『社会科学系のための「優秀論文」作成術—プロの学術論文から卒論まで』勁草書房, 2010. …社会科学系査読論文の「型」と**学術雑誌攻略法**を丁寧に解説した上級書。博士課程院生必読。

泉忠司『論文&レポートの書き方』青春出版社, 2009. …論文は「論理性」が命: 「問い」の立て方、暫定的文献リストの作成方法、論文の型は常に三拍子、パラグラフ・ライティングの理論と実際等。

石原千秋『大学生の論文執筆法』ちくま新書, 2006. …大学生ではなく、院生・若手研究者向け。第一部「秘伝 人生論的論文執筆法」はユニーク&真っ当。有力研究者等のアイマイ表現を実名で批判。

斉藤孝・西岡達裕『学術論文の技法 新訂版』日本エディタースクール, 2005. …定評ある手引書（1977, 1988, 1998）の最新版。論文の注の書き方が詳しい（第5章）。

鹿島茂『勝つための論文の書き方』文春新書, 2003. …ハウツー本的书名だが、内容は高度。**文献研究予定者は必読。「良い」だけでなく「面白い」論文を書くための「問題の立て方」**等を講義。

野口悠紀雄『超文章法—伝えたいことをどう書くか』中公新書, 2002. …「論述文の成功はメッセージが『ためになり、面白い』かどうかで決まる」。良い意味で即物的で修論のチェックリストにもなる。

伊丹敬之『創造的論文の書き方』有斐閣, 2001. …プロの論文を書くための研究のプロセスと心構え。**テーマの決め方と仮説の育て方**、付録が特に秀逸。上級書（博士課程の院生向き）で、教員にも有用。

妹尾堅一郎『研究計画書の考え方—大学院を目指す人のために』ダイヤモンド社, 1999.* …単なる大学院受験参考書ではなく、入学後も「修論計画書」を推敲するための指針書。計画書の添削事例は秀逸。

木下是雄『理科系の作文技術』中公新書, 1981. …文章の組み立て方、パラグラフの意味、はっきり言い

きる姿勢、事実と意見の区別等、実証研究論文の最良の指導書。文科系の実証研究予定者も必読。

2. 読書法(関連)…研究・情報収集のための読書用(趣味の読書は除く)

齋藤孝『超速読力』ちくま新書,2019. …「超速独力」(大量の情報をざっと流し込み、それに対しコメントが言える能力)を身につけるための心構え・テクニック・トレーニング法を伝授。

鎌田浩毅『理科系の読書術ーインプットからアウトプットまでの28のヒント』中公新書,2018. …読書への「心のバリア」克服の処方箋。第2章「難解な本の[特有な]読み方」はユニークかつ有用。

池上彰・佐藤優『僕らが毎日やっている最強の読み方ー新聞・雑誌・ネット・書籍から「知識と教養」を身につける70の極意』東洋経済,2016. …達人の真似ではなく「自分流のスタイルを構築」。

池上彰『池上彰の新聞勉強術』文春文庫,2011(ダイヤモンド社,2006). …「週刊子供ニュース」の元名キャスターが書いた「メディア・リテラシー」を身につけるための本。**日本経済新聞の問題点**も指摘。

曾我謙吾「先行研究を読むとはいかなる営みなのか」『書齋の窓』2014~15(ウェブ上に全文公開). …修論・博論を書くための先行研究の批判的読み方をていねいに解説：**常に時間対効果を考える。**

齋藤孝『大人のための読書の全技術』中経出版,2014. …第1章(ルールづくり等)と第2章の速読技術(締め切り設定、逆算読書法、2割読書法、サーチライト方式等)は特に有用。

日垣隆『つながる読書術』講談社現代新書,2011. …「発信することを前提に読む」「ソーシャル・リーディング」のノウハウ。第3章「書いて深める読書術」は正統的、第4章に読書会のノウハウ。

鹿田尚樹『10分間リーディングー速読しないで1冊読める!』ダイヤモンド社,2010. …「**本は大事なところだけ読む**」。毎朝、1冊10分間リーディング+20分間読書記録を日課にする技法を紹介。

松岡正剛『多読術』ちくまプリマー新書,2009. …「読書することは編集すること」という視点から、読前・読中・読後別に、松岡氏の方法を開陳。ポイントは「**自分に合った読書スタイル**」の確立。

高田明典『難解な本を読む技術』光文社新書,2009. …難解な思想書の「同化読み」の技術を、選書の仕方から、「読書ノート」のとり方、「読まない読書」まで丁寧に説明。**理論研究希望者向き。**

奥野宣之『読書は1冊のノートにまとめなさい』ナ・コポレト・コミュニケーション,2008. …読みっぱなしを止め、1冊のノートで、5段階の読書プロセス(探す・買う・読む・記録・活用)をマネジメント。

樋口裕一『差がつく読書』角川Oneテーマ21,2007.* …第1部実読の方法は院生必読。「**発信**」のための効率よい「**多読と精読の併用**」技法を初歩から解説。特に5種類の多読テクニックは有用。

井上ひさし『本の運命』文春文庫,2000. …**井上流本の読み方10箇条**(第3章)は必読。

丸谷オ一『思考のレッスン』文春文庫,2002(文春,1999). * …柔軟な思考・読書・文章術のヒント。

中谷彰宏『大人のスピード勉強法ー時間がない人の66の具体例』ダイヤモンド社,1999. …ビジネスマン向き実用書だが、効率的な読書・勉強のテクニックが豊富。

M・J・アドラー、C・V・ドーレン『本を読む本』講談社学術文庫,1997. …もともと体系的な読書の技法書。読書には4レベルあり、中心は「分析読書」。文献研究予定者は必読。

立花隆『ぼくはこんな本を読んできた』文芸春秋,1995.* …「**実践に役立つ14カ条**」(73~75頁)。

内田義彦『読書と社会科学』岩波新書,1985. …「**自前の概念装置**」を獲得するための、社会科学の古典の精読の「心得」。「**確信にあぐらをかくな**」。歴史・理論研究予定者は必読。

3. 勉強法・研究方法論(論理的思考法、情報収集・整理の技法、知的生産の技術等)

佐藤郁哉『リサーチクエスチョンとは何か?』ちくま新書,2024. ●…研究方法論のうち、リサーチクエスチョンに限定して深く掘り下げた、おそらく日本初の本。**博士課程院生・若手研究者向きの中上級書。**

つんくみ『凡人が天才に勝つ方法 自分の中に「眠れる才能」を見つけ、劇的に伸ばす45の黄金ルール』東洋経済, 2023. ●…45のルールと下位ルールには研究者になるヒントも少なくない。

東浩紀『訂正する力』朝日新書, 2023. ▲…「ひとりひとりがそれぞれの現場で現状を少しずつ変えていくような地道な努力」を「訂正する力」と呼び、それについて多面的に論じている。

トーマス・S・マラニー+クリストファー・レア著『リサーチのはじめかた 「きみの問い」を見つけ、育て、伝える方法』筑摩書房, 2023 (原著2022). ▲…「自分中心的研究」のためのコツ。

福原俊一『リサーチ・クエスチョンの作り方～診療上の疑問を研究可能な形に 第3版』iHOPE, 2015 (初版2008). ▲…「診療に還元できる」リサーチ・クエスチョンの作り方を丁寧に解説。

小林昌樹『調べる技術 国会図書館秘伝のレファレンス・チップス』皓星社, 2022年. ▲…レファレンスサービスのコツを、「Googleがやってくれないこと」を中心に、大公開・「見える化」。

若村智子・西村舞琴『はじめて学ぶ文献レビュー』総合医学社, 2020. ▲…看護学部4年生の卒業研究執筆を想定して、文献レビューの書き方を教師と学生との対話形式で、分かりやすく解説。

大木秀一『看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん』医歯薬出版, 2013. ▲…文献レビュー（文献研究）の基本を、初学者・大学院生向けにわかりやすく書いた日本初の本。

斎藤孝『頭がよくなる！要約力』ちくま新書, 2022. …「要約力」がない人のための基本技、「要約力」トレーニング、さらに高い「要約力」をつけるためのテクニックを伝授。

池上彰『わかりやすさの罫一池上流「知る力」の鍛え方』集英社新書, 2019. …「わかったつもりになってしまう」罫に陥らないための、池上流「知る力」の鍛え方を開陳。

上野千鶴子『情報生産者になる』ちくま新書, 2018. …論文の書き方・研究の仕方を網羅的に説明。院生だけでなく教員にも有用。KJ法を発展させた「うえの式質的分析法」については後述。

近藤克則著『研究の育て方ーゴールとプロセスの「見える化」』医学書院, 2018 (2刷). …日本福祉大での経験を踏まえ、研究成果を論文や書籍にまとめ発表し続けるための心構えとノウハウを開陳。

佐藤雅昭『なぜあなたの研究は進まないのか』メディカルレビュー社, 2016. …研究が進まない理由・落とし穴を合計40のQuestionにまとめ、それを解決するための心構えを簡潔に示す。

岩崎晋也・他編『社会福祉研究のフロンティア』有斐閣, 2014. …52のテーマについて、基礎的な理論や実践と最新の研究動向を解説し、必読文献も紹介。社会福祉学研究的の全体像を鳥瞰できる。

二木立『福祉教育はいかにあるべきかー演習方法と論文指導』勁草書房, 2013. …著者の日本福祉大学での教育の経験と工夫を集大成。第2章「研究論文指導はいかにあるべきか」は院生必読。

須田木綿子・他編『研究道：学的探究の道案内』東信堂, 2013. …22人の第一線研究者が若手研究者に研究の心構えとプロセスを伝授。学術論文の投稿・査読の「体験」談は貴重（第15～22章）。

福原俊一『臨床研究の道標ー7つのステップで学ぶ研究デザイン』健康医療評価研究機構, 2013. …漠然とした疑問から研究の基本設計図への7つのステップを詳述。研究の出発点は医療者の「心」。

齊藤孝『偉人たちのブレイクスルー勉強術ードラッカーから村上春樹まで』文藝春秋, 2010. *…大人の勉強のポイントは「自分にあったペース」と「自分の好きな方法」。読み物としても面白い。

池上彰『＜わかりやすさ＞の勉強法』講談社現代新書, 2010. …「わかりやすさを考える」3部作最終巻。プレゼン力の伸ばし方、新聞・本の読み方、細切れ時間の利用法等、池上流勉強法を紹介。

奥野宣之『情報は「整理」しないで捨てなさい』PHP, 2010. *…情報に幅広く触れつつ、取捨選択を瞬時に行う4段階の「情報の入口戦略」とテクニックを詳述。鍵は「情報に序列を付ける」。

東郷雄二『新版 文科系必修研究生活術』ちくま学芸文庫, 2009. (夏目書房, 2000). *…「スキルとしての学問」のノウハウを惜しみなく公開。先行研究の批判検討(第7章)は秀逸。主に昼間部院生向き。

石原武政『「論理的」思考のすすめー感覚に導かれる論理』有斐閣,2007. …理論・論理との付き合い方についての著者の試行錯誤を正直に語る。鍵は「**感覚の論理化**」。博士課程院生向き。

鎌田浩毅『ラクして成果が上がる理系的仕事術』PHP新書,2006. …理系＝「**アウトプット優先主義**」&「**主知主義**」の立場から、著者と先人の開発した知的生産の技術の理念と技法を紹介。

二木立『医療経済・政策学の視点と研究方法』勁草書房,2006. …第4・5章は社会福祉学を含めて、広く社会科学を学ぶ人が、自分なりの研究視点と方法・技法を身につけるヒントを満載。

岩田正美・他編『社会福祉研究法ー現実世界に迫る14のレッスン』有斐閣,2006. …社会福祉研究の独自性の探究。第3部は7つの研究事例を著者本人が研究方法の角度から解説しており、有用。

内田和成『仮説思考ーBCG流問題発見・解決の発想法』東洋経済,2006. …「情報が少ない段階から、常に問題の全体像や結論を考える」仮説思考は、ビジネスだけでなく研究でも不可欠。

和田秀樹『<疑う力>の習慣術』PHP新書,2004. * …**問題発見能力＝疑う力。自分の価値判断基準も疑ってみる。**ただし、「疑いすぎる」と泥沼に入る。「非常識」ではなく「脱常識」。

和田秀樹『大人のためのスキマ時間勉強法』PHP,2003. * …10の基本原則は忙しい社会人院生向き。

苅谷剛彦『知的複眼思考法』講談社+α文庫,2002(講談社,1996). …東大での教育に基づく、一歩進んだ思考法。「批判的読書のコツ20のポイント」(第1章)、問いの立て方(第3章)は特に有用。

斎藤孝『「できる人」はどこがちがうのか』ちくま新書,2001. …特定の領域の上達法ではなく、領域と領域の間を「またぎ越す」上達の普遍的論理＝まねる力、段取り力、コメント力の3つの力。

橋本治『「わからない」という方法』集英社新書,2001. …「わからないからやってみる」。

野口悠紀雄『「超」発想法』講談社,2000. …発想の5原則は重要。**KJ法を批判。**

野口悠紀雄『「超」勉強法』講談社,1995. …第1章の**勉強の基本3原則(面白いことを勉強する、全体から理解する、基礎を8割理解したら応用に進む)**は妥当だが、第2章以下の各論は大秀才向き。

野口悠紀雄『「超」整理法ー情報検索と発想の新システム』中公新書,1993. …時間軸を用いた整理法は新鮮・有用。ただし、「適用限界」がある。

立花隆『「知」のソフトウェアー情報のインプット&アウトプット』講談社現代新書,1984. …準古典。

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書,1979. …著者自身の米国での「**普遍主義**」的社会学研究体験に基づいて、具体的証拠に基づいて「**理論と経験とをつなぐ**」方法論を提唱。

梅棹忠夫『知的生産の技術』岩波新書,1969. …この分野の「超」古典、今でも新鮮。

川喜田二郎『発想法ー創造性開発のために』中公新書,1967. …著者の案出した**KJ法**の原著。

<記憶力強化の技術>

伊藤真『記憶する技術』サンマーク文庫,2016(2012). …記憶力は一生鍛えることができる！丸暗記でなく、「使いこなす」ための記憶する技術の方法。全体像を把握、アウトプットを意識して記憶等。

徳田和嘉子『東大生が教える！超暗記術ー基本から暗記のコツまで』ダイヤモンド社,2006. …「**暗記はすべての学問のもと**」。楽しく効率的で、しかも正統的な暗記の方法を公開。

南博『記憶術ー心理学が発見した20のルール』カッパブックス,1961. * …40年以上重版を続けた古典。特殊クニクではなく、ルール1「**記憶できるのだという自信をもつこと**」等、基本に忠実。

4. プリゼンテーション・学会発表の技法&議論・論争、会議司会の技術

<プリゼンテーション・学会発表の技法>

酒井聡樹『これから学会発表する若者のために [第2版] ポスターと口頭のプレゼン技術』共立出版,2018. …分かりやすい発表をするための心がけと技法を伝授。**パワポでの学会発表予定者必読。**

※私個人はパワポは大嫌いで、すべての講演でパワポは使わず「詳細レジユメ」を用いている。

渡部欣忍『あなたのプレゼン誰も聞いていませんよ！シンプルに伝える魔法のテクニック』南江堂,

2014. …魅力的&論理的スライド作成のテクニック。修正例（第3章）は充実。パワポ使用者必読。

宮野公樹『研究発表のためのスライドデザイン』講談社ブルーバックス, 2013. …分かりやすいスライド

を作り、プレゼンを成功させるための「考え方（姿勢）」とデザイン的な「技術」を詳述。

黒木登志夫『知的文章とプレゼンテーションー日本語の場合、英語の場合』中公新書, 2011. …日本語

・英語共通の「知的三原則」は簡潔・明快・論理的。審査・評価の姿勢と文書の書き方は貴重。

齋藤裕之・他編『医療者のための伝わるプレゼンテーション』医学書院, 2010. …スライド・ポスター

による研究発表の心構えと技法を丁寧に解説。最も伝えたいことは「ポイントを最小限に絞る」。

池上彰『わかりやすく伝える技術』講談社現代新書, 2009. …テレビの解説で身につけた技術を詳

述。まず「話の地図」を示す、図の矢印の使い方、「三の魔術」、キーワード力、腹式呼吸等。

R・R・H・アンホルト、鈴木炎・他訳『理系のための口頭発表術』講談社ブルーバックス, 2008. …「論

理と思考に重点」を置いた口頭発表の手引き書。特に、**パワーポイント使用者は必読。**

梶原しげる『口のきき方』新潮新書, 2003. * …社会人大学院に入学しカウンセラーにもなったアナウ

ンサーの体験的「口のきき方」。核心は「よく聴く」技術&日本語の語感に鋭くなる。

高井伸夫『3分以内に話はまとめなさいーできる人と思われるために』かんき出版, 2003.* …簡潔で分かりや

すい話し方の心構えとテクニック。**批判する時の鍵は「建設的」**。学会の発表・質疑にも有用。

<議論・論争、会議司会の技術>

福澤一吉『新版 議論のレッスン』NHK出版新書, 2018（初版2002）. …長年のゼミ指導に基づく口頭

&読み書きのレベル別「議論のルール」。根拠・論拠を示し、許される範囲の「飛躍」をする。

香西秀信『反論の技術ーその意義と訓練方法』明治図書, 1995. …意見を述べるとは反論すること。

高橋誠『会議の進め方 [第2版]』日経文庫, 2008. * …会議を4種類（伝達・創造・調整・決定）に

分類した上で、それぞれを効率性と創造性を合わせもった会議にするための技法を伝授。

5. 研究の倫理・研究者の心構え

加藤憲「査読者から見た論文作成に至るまでに検討すべき倫理的課題」『日本医療・病院管理学会誌』 57（1）： 46-49頁, 2020（ウェブ上に公開）。▲…査読者としての体験に基づいた問題提起。

猪木武徳『経済社会の学び方 健全な懐疑の目を養う』中公新書, 2021. …複雑な（経済）社会を少

しでも正確に把握し、問題点を抽出し、いかに対応すれば良いか考える際のヒントを示す。

田代志門『みんなの研究倫理入門 臨床研究になぜこんな面倒な手続きが必要なのか』医学書院,

2020. …研究倫理の基本的な考え方を、法令や指針の解説ではなく、対話形式で考える。

玉腰暁子・武藤香織『医療現場における調査研究倫理ハンドブック』医学書院, 2011. …調査研究の計

画・実施～論文発表の各段階の研究倫理を分かりやすく説明。福祉の調査・観察研究予定者必読。

坪田一男『理系のための研究生活ガイドーテーマの選び方から留学の手続きまで 第2版』講談社ブルー

バックス, 2010. …明るく楽しい研究生活のノウハウ。読むとやる気がおこり文系院生にも有益。

酒井邦嘉『科学者という仕事ー独創性はどのように生まれるか』中公新書, 2006. …「科学とは疑うこ

と」、「一に模倣、二に創造」、「論文こそすべて」等は、文系研究者にも必要な心構え。

入江昭『歴史を学ぶということ』講談社現代新書, 2005…歴史を学ぶことには2つの意味がある：過去

の事実の記録と解明された事実の意味づけ。歴史はすべての研究者・院生が学ぶ必要がある。

船曳建夫『大学のエスノグラフィティ』有斐閣,2005. …東京大学の文科系教員の発想・生態とゼミ風景をサラリと描く。「遊び、それは学問そのもの」、「生産力とは集中力プラス持続力」。

林周二『研究者という職業』東京図書,2004.* …自称「二流人間」が、実践的研究を行うための知恵と工夫を丁寧かつ正直に語る。「自己能力の客観評価」を行い、「他人のやらない盲点をねらえ」。

宇野賀津子・板東昌子『理系の女の生き方ガイドー女性研究者に学ぶ自己実現法』講談社ブルーバックス,2000. …文科系の女性院生も必読。第1～3章以外は男性院生にも有用。

高木仁三郎『市民科学者として生きる』岩波新書,1999. …東大教授への道を捨て、反原発運動に生きた市民科学者の感動的自伝。末期癌による「死の予感のもとで」、明るく、確信と希望を語る。

寺田寅彦「科学者とあたま」『寺田寅彦随筆集第4巻』岩波文庫,1948,202-207頁. …科学者（研究者）論の超古典。科学者は「頭が悪いと同時に頭がよくなってはならない」（頭が悪い＝「鈍感力」）。

<将来大学教授をめざす院生へ>

フィリップス・他『博士号のとり方ー学生と指導教員のための実践ハンドブック [第6版]』名古屋大学出版会,2018. …この領域のバイブル。第7章「指導教員との付き合い方」は院生・教員共必読。

鷲田小弥太『最終版 大学教授になる方法』言視舎,2017（初版は青弓社,1991）. …この種の本の草分けの最終版。偏差値50前後なら努力すれば教授になれる&21世紀も大学教授はすてきな仕事。

櫻田大造『大学教員 採用・人事のカラクリ』中公新書ラクレ,2011. …文科系大学教員になるための秘訣と「採る側の論理」を詳述し、教員志望院生必読。第5章「失敗ケースにも学ぶ就活術」。

多井学『大学教授こそこそ日記』三五館シンシャ,2023. ● …関西の大手私立学教授が、銀行員等を経て教授になるまでの苦闘と教授の生活をリアルに描く。現役大学教員の自己点検にもなる。

6. 社会調査の入門書・副読本

※私の強い助言：高度な社会調査の方法を「独習」のみで学ぶのは困難・危険。量的研究法（多変量解析等）でも、質的研究法（GTA、M-GTA、KJ法、SCAT等）でも、正規の講習会を受講し、かつそれらの方法に習熟した教員の指導を受ける必要がある。

<量的調査>（参考書・教科書は山ほどあるので、文科系院生向きの代表的教養書のみ示す）

警告：「嘘には3種類ある。ただの嘘と真っ赤な嘘と統計だ。」（『マーケットウェイン自伝』）

河口洋行『文系のための統計学入門 データサイエンスの基礎（第2版）』日本評論社,2024（初版2021）● …「数学が苦手でも、グラフ（図表）で統計学やデータ分析の本質を理解できる」。

筒井淳也『数字のセンスを磨く データの読み方・活かし方』光文社新書,2023. ▲数字のセンスとは数字にできること、できないことをきちんと区別すること。量的調査の教科書の副読本。

菅原琢『データ分析読解の技術』中公新書ラクレ,2022. ▲ …世に数多く出回っているデータ分析の失敗例を「問題」として示し、どこが間違っているかを示す。統計学の勉強の中級副読本。

中村好一『基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版』医学書院,2020（初版2002）. …定評ある疫学入門書の7年ぶりの改定。数式をほぼ使わず、疫学と疫学に必要な統計の基礎を分かりやすく解説。

豊田秀樹『瀕死の統計学を救え！有意差検定から「仮説が正しい確率」へ』朝倉書店,2020. …統計的に有意でも科学的に無意味な論文をなくすため、p値に代わる指標を提起。量的研究予定者必読。

森下貢『統計分布を知れば世界が分かるー身長・体重から格差問題まで』中公新書,2019. …世界のほとんどの物事は、正規分布、べき乗分布、対数正規分布の3種類の統計分布で説明できる。

中山和弘『看護学のための多変量解析入門』医学書院,2018. …多変量解析の基礎と勘所を、重回帰分析

中心に、複雑な数式を用いずベン図を多用し視覚的に解説。Q & Aも有用だが、入門書ではない。

川本利恵子・他『「尺度」を使った看護研究の基本とコツ』日本看護協会出版会,2016.…尺度を用いた質問紙調査法の初歩をわかりやすく解説。「尺度開発者への使用許諾のとり方」等、きめ細かい。

ダニエル・リフ他、『内容分析の進め方—メディア・メッセージを読み解く』勁草書房,2018（原著第3版2014）. …量的内容分析の理論と方法の中級教科書。サンプリングについての記述が豊富。

有馬明恵『内容分析の方法』ナカニシヤ出版,2007（2017.2第6刷）. …内容分析（主として量的分析）の日本人による初めての入門書。本文61頁で手軽に読める。付録2に5つの研究事例。

中室牧子・津川友介『「原因と結果」の経済学—データから真実を見抜く思考法』ダイヤモンド社,2017&伊藤公一朗『データ分析のカー因果関係に迫る思考法』光文社新書,2017.

…2冊とも量的研究を予定している大学院生必読の統計的因果推論の入門書。相関関係と因果関係の混同を戒め、因果関係に迫る統計的推論の手法のポイントを数式を使わずに分かりやすく説明。

鈴木淳子『質問紙デザインの技法 [第2版]』ナカニシヤ出版,2016.…質問紙法の体系的・実践的入門書。本調査実施前に予備調査、質問作成では「誘導質問」に気をつける等。本調査予定者必読。

森靖雄『新版やさしい調査のコツ』大月書店,2005。*…50年の経験に基づき、質問紙調査の技術とノウハウを丁寧に解説。「仮説主義」の呪縛も指摘。聞き取り調査と現地調査にも触れる。

須藤康介・他『文系でもわかる統計分析』朝日新聞出版,2012.…若手社会学者が対話形式でクロス集計から多変量解析まで、統計分析の原理と応用例を厚く記述。SPSSによる操作手順も紹介。

アイリーン・マグネロ著、井口耕二訳『マンガ統計学入門—学びたい人のための最短コース』講談社ブルーバックス,2010. …統計学の歴史と各手法の全体像を、数式抜きで、ザックリと説明。

上田尚一『統計グラフのウラ・オモテ—初歩から学ぶ、グラフの「読み書き」』講談社ブルーバックス,2005. …良いグラフを書くための「統計的な考え方」を伝授。

石井京子・田尾清子『ナースのための質問紙調査とデータ分析 第2版』医学書院,2002（初版1999）.

●…質問紙を作成する上での注意点や、量的データを処理する検定方法をわかりやすく解説。

谷岡一郎『「社会調査」のウソリサーチ・リテラシーのすすめ』文春新書,2000.…際物的タイトルだが、中身は正論。第1章「社会調査」はゴミがいっぱい、修論への自戒とすること。

ダレル・ハフ『統計で嘘をつく方法—数式を使わない統計学入門』講談社ブルーバックス,1968.…50年も重版を続けている超ロングセラー。特に第10章統計のウソを見破る5つのカギは有用。

<質的調査全般(事例調査・オーラルヒストリー、アクションリサーチは後記)>

村上靖彦『客観性の落とし穴』ちくまプリマー新書,2023. ▲…自分たちでデータを取りながら進めている生き生きとした現象学実践。質的研究を志しつつも、手法の選択に迷っている人必読。

斎藤清二『改訂版 医療におけるナラティブとエビデンス 対立から調和へ』遠見書房,2016（初版2012）. ▲…内容は書名の通り。医療以外の対人援助サービス・臨床に関わる職種にも有用。

熊谷晋一郎『当事者研究—等身大のくわたくし>の発見と回復』岩波書店,2020.…当事者研究の第一人者が、当事者研究の歴史、特徴と方法、最新動向と将来展望を、包括的に語る。

石原孝二編『当事者研究の研究』医学書院,2013. …当事者の「手記」でも「運動」でもなく、当事者自身が自分たちの抱える問題を研究する「当事者研究」の理論と実際を初めて体系的に示す。

道長良子『ヘルス・エスノグラフィー—医療人類学の質的研究アプローチ』医学書院,2020.…人類学の方法論であるエスノグラフィーを、保健・医療・福祉分野に位置づけて展開。

日本ソーシャルワーク学会監修『ソーシャルワーカーのための研究ガイドブック』中央法規,2019.…実

践家による研究」推進の手引き書。第Ⅲ部で執筆者の論文を紹介し、思考プロセスを開陳。

大谷尚『質的研究の考え方ー研究方法論からSCATによる分析まで』名古屋大学出版会,2019. …質的研究と量的研究とを包括したメタ的な考察&著者が開発したSCATの解説。**講習会受講必須。**

上野千鶴子『情報生産者になる』ちくま新書,2018. (再掲) …「うへの式質的分析法」(第Ⅳ章)はカテゴリーの重み付けを否定するGTA等と異なり、分析の際に情報の分散を考慮して、重み付け。

中嶋洋『初学者のための質的研究26の教え』医学書院,2015. …各種のインタビュー調査(エスノグラフィ、ナラティブを含む)を中心にして、質的研究の初歩を簡潔に解説。

岸政彦・他『質的社会調査の方法ー他者の合理性の理解社会学』有斐閣,2016. …フィールドワーク、参与観察、生活史調査の3つの質的調査のノウハウを開陳。「読んで面白く現場でも役に立つ」。

藤島薫『福祉実践プログラムにおける参加型評価の理論と実践』みらい,2014. …メゾ(地域等)レベルでの社会福祉実践中心に、プログラム評価の先行研究を丁寧に検討し、著者の適用事例を提示。

好井裕明『違和感から始まる社会学ー日常性のフィールドワークへの招待』光文社新書,2014. エスノメソドロジーを中心に解説。補論2「質的調査方法論テキストの使い方」は充実。

萱間真美『質的研究のピットフォールー陥らないために 抜け出するために』医学書院,2013. …院生指導の経験に基づき、院生の陥りやすい落とし穴と抜け出すためコツを丁寧に解説。教員にも有用。

田中千枝子・他『社会福祉・介護福祉の質的研究法ー実践者のための現場研究』中央法規,2013. …現場実践研究の意義と質的研究の醍醐味を研究事例から解説。本学「大学院ゼミナール」の成果。

笠原千絵・他編『地域のく実践を変える社会福祉調査入門』春秋社,2013. …現場の実践者を想定し、「限定された現場での有効性」と「実際に現場を少し変える」ことを目指す。4つの事例付き。

小田博志『エスノグラフィ入門ーく現場くを質的研究する』春秋社,2010. …「人々が生きている現場を理解するための方法論」エスノグラフィを使い、「現場力」と「概念力」を身につける。

佐藤郁哉『質的データ分析法ー原理・方法・実践』新曜社,2008. …質的研究にみられる「薄い記述」を「厚い記述」に変える方法や手がかりを、原理編と実践編に分け詳述。**GTAの本質的批判も含む。**

佐藤郁哉『フィールドワークー書を持って街へ出よう [増補版]』新曜社,2006. …質的調査と量的調査の「恥知らずの折衷主義」。「基本の基本」を紹介した入門書。各技法の詳細は書いていない。

佐藤郁哉『フィールドワークの技法ー問いを育てる、仮説を鍛える』新曜社,2002. …フィールドワークの技法の詳細を実践的に紹介。「『仮の答え』としての仮説を練り上げる」ことを強調。

鈴木淳子『調査的面接の技法 第2版』ナカニシヤ出版,2005. …体系的かつ実践的な入門書(教科書)。

好井裕明『「あたりまえ」を疑う社会学ー質的調査のセンス』光文社新書,2006. …著者の経験と優れた著作の解釈を通して、「調査する精神」の真髄を語る。**グラウンデッド・セオリーを批判。**

小田豊二『「書く」ための「聞く」技術』サンマーク出版,2003. * …聞き書きの名手が開発した、体験的かつ体系的インタビューの技術。初級からプロのテクニックまで。

関満博『現場主義の知的生産法』ちくま新書,2002.* …「歩く経済学者」が「一生もの」として現場の人々とじっくりつきあい調査し、書籍にまとめるノウハウを開陳。現場の「両極端に注目」。****

根本博司・他編『初めて学ぶ人のための社会福祉調査法』中央法規,2001. * …社会援助活動関連の質的調査と量的調査の基礎を解説。**第1部事例調査法は有用。**

小池和男『聞きとりの作法』東洋経済新報社,2000.* …事例調査&アンケート調査予定者必読。**聞きとり調査前の「仮説の設定」の大切さ。まず聞き取り調査を行ってから、アンケート調査を併用。**

安梅勲江『ヒューマン・サービスにおけるグループインタビュー法ー科学的根拠に基づく質的研究法の展開』医歯薬出版,2001. 『Ⅱ』2003. 『Ⅲ』2010. …具体的分析方法・コツを丁寧に解説。

S・ヴォーン、他『グループ・インタビューの技法』慶応義塾大学出版会, 1999. …フォーカス・グループインタビューの概念と技法をていねいに解説。

<質的調査：事例調査（ケーススタディ）・オーラルヒストリー>

福富城・他編著『相談援助職のための事例研究入門』中央法規, 2020. …実践家向けに、事例研究の方法、抄録の作成法等を分かりやすく説明。相談援助職の日常業務に活用できる知見も豊富。

仙波純一『精神科症例報告の上手な書きかた [第2版]』星和書店, 2019（初版2008）. …若い精神科医向けの症例報告の定評あるガイドブックの改訂版（130頁）。福祉領域でも有用。

野田亜由美「研究方法としての事例研究—系統的事例研究という視点から」『お茶の水女子大学心理臨床相談センター紀要』16巻, 2014（ウェブ上に公開）. …事例研究の効用と限界、強みと弱み。

和田要『介護事例研究の手引き—ケーススタディをはじめよう！ [第3版]』日総研出版, 2007. *…介護分野のケーススタディの進め方を易しく解説し、具体例も示す。修士課程院生にも有用。

斎藤清二『事例研究というパラダイム—臨床心理学と医学を結ぶ』岩崎学術出版, 2003. …医師&臨床心理学者が自己の研究事例を紹介しながら、「臨床事例研究」のあり方を論じる。博士課程レベル。

R Kイン『新装版ケー・スタディの方法 [第2版]』千倉書房, 2011. …ケース・スタディの方法論の基礎を明らかにした本格的な教科書兼専門書。**ケーススタディを用いる博士課程院生は必読。**

渡部律子編『基礎から学ぶ 気づきの事例検討会—スーパーバイザーがいなくても実践力は高められる』中央法規, 2007. …事例検討会の成果を8つの詳細な事例を中心に、bottom-upでまとめる。

F・ローゼンツワイク『なぜビジネス書は間違うのか—ハロー効果という妄想』日経BP社, 2008. *…ビジネス領域に限らず、「**ケーススタディ**」**予定者必読：「成功例だけを取り上げる」妄想等。**

+ **印南一路「成功例の共通要因サーチの致命的欠陥」**『Monthly IHEP（医療経済研究機構）』2014年7月号：24-28頁. …成功事例のみの調査からは成功要因は分からない理由を明快に説明。

平山尚・他『ソーシャルワーク実践の評価方法—シングル・システム・デザインによる理論と技術』中央法規, 2002. *…SSD（単一事例実験計画法）の基礎・原理と応用方法をていねいに解説。

ヴァレリー・ヤウ著、『オーラルヒストリーの理論と実践』インターブックス, 2011. …オーラルヒストリーの世界的な定番教科書。第4章インタビューの技法は、インタビュー調査にも有用。

御厨貴編『オーラル・ヒストリーに何ができるか—作り方から使い方まで』岩波書店, 2019. …オーラルヒストリーの体験者17人がその理論と実際、今後の課題を多面的に論じる。

御厨貴『オーラル・ヒストリー—現代史のための口述記録』中公新書, 2002. …第4章「オーラル・ヒストリー・メソッド」（特に実施の留意点）はインタビュー調査にも有効。

<質的調査：アクションリサーチ（例示）>※この方法は**管理職（not「平」）の社会人院生にお勧め**
デイビッド・コフラン他著、永田素彦・他監訳『実践アクションリサーチ 自分自身の組織を変え
る』中央経済社, 2021（原著第4版, 2014）. ▲…自分自身の組織の改善・改革をめざす内部AR。

武田丈『参加型アクションリサーチ（CBPR）の理論と実践—社会変革のための研究方法論』世界思想社, 2015. *…直接的に地域の状況改善につながるCBPRの理論・方法・実践例を概説。

ストリンガー、目黒輝美・他監訳『アクション・リサーチ』フィリア, 2011. *…英語の定番教科書第3版の翻訳。実践者向けに、理論と方法から、形式の整った報告書の書き方に至るまで詳述。

筒井真優美編『研究と実践をつなぐアクションリサーチ入門—看護研究の新たなステージへ』ライフサポート社, 2010. …本法の背景～研究の進め方、研究成果の発表方法を解説。看護系院生必読。

アリソン・モートン＝クーパー著、岡本玲子・他訳『ヘルスケアに活かすアクションリサーチ』医学書院, 2005. *…この分野のわが国初の単行本。現場での「小規模介入」研究予定者は必読。

<「質的研究」全般の概説書・教科書>

木下康仁『定本M-G T A 実践の理論化をめざす質的研究方法論』医学書院, 2020. …著者提唱の「修正版G T A」を体系的に論述。**Part 1 はオリジナルG T Aを用いる者も読むべき。**

佐藤郁也『社会調査の考え方（上・下）』東京大学出版会, 2015. …①社会調査での試行錯誤のプロセスと②用語の混乱中心に、「基本の基本」を丁寧に解説。**第6章「仮説を鍛える」は特に有用。**

コービン&シュトラウス、操華子・他訳『質的研究の基礎 グラウンデッド・セオリー開発の技法と手順 第3版』医学書院, 2012. …シュトラウス派G Tの最新版教科書。**G Tを用いたい院生必読。**

ウヴェ・フリック、小田博志監訳『新版 質的研究入門<人間の科学>のための方法論』春秋社, 2011. …「入門書」ではなく、高度でバランスのとれた概説書。監訳者の解説と用語翻訳メモも充実。

キャサリン・ポープ他『質的研究実践ガイドー保健・医療サービス向上のために〔第2版〕』医学書院, 2008. *…「量的研究を補完」する質的研究のもっとも分かりやすい入門書。

<「混合研究法」(複数の研究方法の統合)の概説書とそれを用いた優れた研究書>

T・チャールズ、他『混合研究法の基礎ー社会・行動科学の量的・質的アプローチの統合』西村書店, 2017. …より進んだ＝博士課程レベルの教科書。第8章「混合研究法におけるサンプリング」は有用。

抱井尚子『混合研究法入門ー質と量による統合のアート』医学書院, 2015. …「質的研究主導型混合研究法」の歴史、概念と最新の研究動向、および同研究法の諸流派について概説。

木原雅子・木原正博訳『現代の医学的研究方法ー質的・量的方法、ミクストメソッド、E B P』医学書院, 2012. …主な方法の最新百科事典。「ミクストメソッド」と**「参加型研究」**予定者は必読。

C・ポープ他『質的研究と量的研究のエビデンスの統合：ヘルスケアにおける研究・実践・政策への活用』医学書院, 2009. …両研究のエビデンスを政策や臨床の意思決定に活用できる形に統合。

冷水豊編『「地域生活の質」に基づく高齢者ケアの推進ーフォーマルケアとインフォーマルケアの新たな関係をめざして』有斐閣, 2009. *…茅野市をフィールドに、多様な質的・量的研究方法を統合。

山崎喜比古・井上洋士編『薬害H I V感染被害者遺族の人生ー当事者参加型リサーチから』東京大学出版会, 2008. *…面接調査＝質的研究と質問紙調査＝量的研究をリンクした、当事者参加型研究。

7. 英語力をつけるための本・雑誌（略。興味のある院生は「2017年度版」参照）

警告：院生に必要なのは英会話力ではなく、英文読解力＝速読&精読術！

(2025. 1. 9謹製)

補足：2025年度版で追加・推薦した6冊の詳しい紹介

（「医療・福祉研究塾（二木ゼミ）」「君たち勉強しなきゃダメ」各号より）

○西部幸大『まったく新しいアカデミック・ライティングの教科書』光文社, 2024年7月。

…日本とアメリカの両方で人文系学術論文執筆（アカデミック・ライティング）のトレーニングを受けた著者（筑波大学人文社会系助教、27歳）が、学術論文を書くために「必要となる条件を、徹底的に要素分解し、極限までプラクティカルに解説」。原理編、実践編、発展編の全3編・10章＋演習問題、本文173頁。記述は簡潔で分かりやすい。大学院生向け。

「論文はアーギュメントをもたなくてはならない」（ルール①、15頁）、「イントロダクションにすべてを書く」（第7章の章名、101頁）等、著者の大半の指摘は妥当と思うが、大半は多くの本に書かれていることで、「まったく新しい」は誇大。本文のすべてで、パラグラフの冒頭1字下げをしていないのは疑問。著者は、「初学者でも本書を読むだけで論文を書けるようになる」と主張しているが、私の経験では、学術論文の執筆能力を独習のみで身につけるのは困難で、大学院または専門家が主催する私塾で、論文草稿の添削指導を繰り返し受ける必要がある。

○佐藤郁哉『リサーチクエスチョンとは何か？』ちくま新書, 2024年11月。

…研究方法論のうち、リサーチクエスチョンに限定して深く掘り下げた、おそらく日本初の本。全6章。リサーチクエスチョンを「社会科学系の実証研究のさまざまな段階で設定される研究上の問いを疑問文形式の簡潔な文章で表現したもの」（29頁）と定義（限定）した上で、「初期段階だけでなく調査研究におけるほとんど全ての過程を通して行われるリサーチクエスチョンの作り方と作り直し方、つまり育て方に絞って解説」（15頁）&「もっぱら、型に沿った調査研究を行う上での『筋の良い』リサーチ・クエスチョンの作り方と育て方について解説」（28頁）。著者は「はじめて調査研究に取り組む学部生や大学院生を主な読者として想定した初級入門書」（269頁）と書いているが（269頁）、内容的にはある程度の調査研究をしたことがある博士課程院生・若手研究者向きの中上級書で、彼らが研究のレベルアップをする上では有用と思う。私も著者の主張のほとんどに賛成。ただし、記述は極度に厳密a/oクドク、解説書と言うより準研究書。序章が本書全体の要旨・結論になっているので、それを読んで、興味を持ったら全文を読めばよい。

私は、特に、以下の記述に同感・共感した：調査研究が型どおりに直線的（リニア）なプロセスをたどっていくことは多くなく、「論文を仕上げていく過程で、リサーチ・クエスチョンに関わる試行錯誤や『右往左往』のプロセスを生かしていくことが重要なポイントになる場合が少なくない」（27頁）&「少なくとも〔論文の〕『方法』の部分で、問いの往復運動を含む試行錯誤のプロセスについても『正直』に報告すべき」（142頁）。「問う内容」について、伝統的な5W1Hよりも「2W〔what（記述）とwhy（説明）〕」というタイプ分けを提唱）&「WhyはWhatよりもエライ」わけではなく、「Whatの問いはWhyの問いの大前提」（第2章）。「良い問いの3条件」は「①意義、②実証可能性、③実行可能性」（186頁）、「木を見て森を見る、森を見て木を見る」（229頁）。「ほとんど全ての統計的調査には『統計的事例研究』ないし『定量的事例研究』としての性格がある」（247頁）。IMRAD [Introduction, Methods, Results and Discussion] という「型」が使われるようになったのは、医学系学術雑誌でも「意外に新しい」（急激に使われるようになったのは1970年代）&非自然科学系の領域でこの「型」に呪縛されるのは「正気の沙汰ではない(This is insane)」&「型から入って型を抜ける」（258-264頁。コラム）。

○つんくみ『凡人が天才に勝つ方法 自分の中に「眠れる才能」を見つけ、劇的に伸ばす45の黄金ルール』東洋経済, 2023年10月。

…2000曲を超える楽曲を登録し、回りからは「天才」と言われるが、「自分は『天才』ではなく『プロ』なんだ」と自覚するようになった著者が、「これまで体験してきた、『才能』という『芽』を伸ばし、『天才』を超えるための方法」を「45の黄金ルール」にまとめて紹介（序章を含め全8章）。45のルールと下位ルール・Pointには、研究者（研究のプロ）になるためのヒントも少なくない&重要な記述にマーカーを引いているので速読できる。

私が特に共感したのは以下のルール：「凡人の勝機は『好き』をとことん追求すること 『得意』と『好き』を間違えないことがポイント」（ルール2）、「『苦手なこと』にクヨクヨ悩むより、『好きを伸ばすこと』で、他を凌駕する」（ルール12）、「『運』は、自分の能力を2倍にも3倍にもする 運をつかむための準備を怠らない」（ルール16）、「最初から『No』が多い人は、本当に伸びない」（ルール18）、「どんな人、どんな職種でも、上達したければ『反復練習』あるのみ！」（ルール20）、「『あいまいな質問』はNG！『具体的な質問』をする人が伸びていく」（ルール21）、「過度な『謙虚さ』は自分を下げるだけ。…謙虚さは『サボリ』や『逃げ』と同じ」（ルール26）、「『自信作』＝『売れる』わけではない。…たくさんのヒットを飛ばせたのは、数を打った結果」（ルール32）、

○多井学『大学教授こそこそ日記』三五館シンシャ, 2023年12月。

…著者（仮名）は関西の大手私立大学（KG大学）の62歳の自称「売れない教授」（ただし、10冊の単著（うち4冊は完全な学術書）を出している）。学生時代に国際関係論の面白さに目覚め、海外留学と銀行員等を経て、29歳で薄給で過酷な勤務の短期大学専任講師になり、そこから脱出するために公募に落ち続けて国立大学専任講に採用され、その後さらに「ステップアップ」してKG大学助教授・教授となりそこで24年間勤務している。その「実体験」を赤裸々に、しかしユーモアも交えながら描く。書かれていることはほとんど私の体験・実感と一致：「牧歌的時代の終焉」、「（教授は）人によってはいくらでも手抜きのできる仕事…自覚がなければ研究がどんどんおろそかになっていく」（27頁）、40代までの優秀な若手教員はより良い大学に移籍（FA宣言）等。現役大学教員の自己点検になる。

○河口洋行『文系のための統計学入門 データサイエンスの基礎（第2版）』日本評論社, 2024年9月（初版2021年）。

…大学1年生と社会人大学院生への教育経験に基づき、「数学が苦手でも、グラフ（図表）で統計学やデータ分析の本質を[直感的に]理解できる」ことを目指したユニークな統計学入門書。各章の内容を解説したYouTube動画やそこで使用したパワーポイントにアクセスできるのは初学者に親切。文系の大学1年生の半期講義のレベルで、統計学の基礎知識・考え方と統計を使う上での勘所が分かるので、社会人院生にもお勧め。多変量解析のうち重回帰分析のみを取り上げているのは見識がある&実用的。ただし内容は濃いのでじっくり読む必要（以上、初版の「ゼミ通信」44号（2021年10月）の紹介・推薦文）。

【補足】第2版は、初版を「教科書として使用している講義で得られた学生からのフィードバックをもとに」して、第6章（信頼区間）、第9章（t検定）、第15章（機械学習）等を改訂。以下の3点は、初版にも書かれていたことだが、初学者には特に重要と思う。①「相関係数の数値と相関関係の表現

（「強い相関がある」と表現できるのは r が ± 0.7 以上等）」（161頁）。②「相関係数を利用するときの4つの注意点」（166-171頁）。③「重回帰分析特有の問題」（「重回帰分析に用いる変数は、経済理論や実態に基づいて選択する」等、「2つの注意点」。204-205頁）。

○石井京子・田尾清子『ナースのための質問紙調査とデータ分析 第2版』医学書院, 2002（初版1999）。

…大阪府看護協会の看護管理研修会（ファーストレベル）の講義をベースにした入門書。質問紙を作成する上での注意点や、量的データを処理する検定方法を分かりやすく解説。「アンケート」（enquete. フランス語で「調査（一般）」）という俗称を用いず、「質問紙調査」という正式名称を使っていることに象徴されるように、記述は厳密。「第2版改定にあたって」の「改定のポイント」も厳密・誠実。**検定の前に、「一次集計（単純集計）について分布の特徴を記述する」ことを強調している**のは重要（71頁）。私の経験では、分布の特徴を検討しないで、高度な統計手法を用い、実質科学的に意味のない差にこだわる「有意差症」（significantosis. 故佐久間昭先生の造語（詳しくは、二木立『医療経済・政策学の視点と研究方法』勁草書房, 2006, 123頁））に陥っている論文が少なくない。二次集計で、ほとんど2変量の検定のみを説明し、多変量解析等に触れていないのも、入門書として見識がある。医学系だけでなく、福祉系の初学者にも有用。